
定期点検整備基準値

定期点検整備基準値	TT-1
エンジン関係	TT-1
シャシー関係	TT-4
定期点検作業要領	TT-6
作業要領	TT-6

MEMO

定期点検整備基準値

TT000-04

エンジン関係

1. Vベルト基準値

(a) たわみ量 (押力98N (10kgf)) : [mm]

基準値

項目	4S-FE	1G-FE	2L-TE	1JZ-GE 2JZ-GE 1JZ-GTE
オルタネーターベルト : 新品時	-	11~13	7~10	-
オルタネーターベルト : 点検時	-	14~18	10~14	-
オルタネーター & A/Cベルト : 新品時	6~9	-	-	-
オルタネーター & A/Cベルト : 点検時	9~11	-	-	-
A/Cベルト : 新品時	-	7~8	13~17	-
A/Cベルト : 点検時	-	9~10	17~21	-
P/Sベルト : 新品時	8~9	5.5~7	8~10	-
P/Sベルト : 点検時	9~14	7~9	10~15	-
Vリブドベルト	-	-	-	インジケーターにより点検 (無調整式)

(b) 張力 [N (kgf)]

基準値

項目	4S-FE	1G-FE	2L-TE	1JZ-GE 2JZ-GE 1JZ-GTE
オルタネーターベルト : 新品時	-	540~635 {55~65}	440~540 {45~55}	-
オルタネーターベルト : 点検時	-	245~390 {25~40}	195~345 {20~35}	-
オルタネーター & A/Cベルト : 新品時	620~850 {63~87}	-	-	-
オルタネーター & A/Cベルト : 点検時	440~540 {45~55}	-	-	-
A/Cベルト : 新品時	-	520~755 {53~77}	372~608 {38~62}	-
A/Cベルト : 点検時	-	295~390 {30~40}	195~390 {20~40}	-
P/Sベルト : 新品時	440~540 {45~55}	←	←	-
P/Sベルト : 点検時	195~345 {20~35}	←	←	-
Vリブドベルト	-	-	-	インジケーターにより点検 (無調整式)

2. エンジン関係基準値
 基準値

(1/2)

項目	4S-FE	1G-FE	2L-TE
バッテリー液比重 (液温20℃) : 基準値	1.25~1.29	←	←
バッテリー液比重 (液温20℃) : 液槽差	0.04以下	←	←
点火時期 [° BTDC] / [r/min] : T端子短絡 ※1	8~12/650±50	8~12/650±50 (M/T、A/T車)	—
点火時期 [° BTDC] / [r/min] : T端子開放 ※1	10~20/650±50	9~13/650±50 (M/T、A/T車)	—
噴射時期 (TDC静止) プランジャーリフト量 [mm]	—	—	刻線合わせ
噴射圧力 [MPa {kgf/cm ² }]	—	—	14.22~15.20 {145~155}
アイドル回転数 (Nレンジ) [r/min]	600~700	600~700 (M/T、A/T車)	650~750 (M/T、A/T車)
アイドルCO濃度 [%]	1.0以下	←	—
アイドルHC濃度 [ppm]	300以下	←	—
ディーゼルスモーク濃度 [%]	—	—	40以下
INバルブクリアランス (冷間時) [mm]	0.19~0.29	0.15~0.25	0.20~0.30
EXバルブクリアランス (冷間時) [mm]	0.28~0.38	0.25~0.35	0.40~0.50
シリンダーヘッド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]	※2	※2	※2
INマニホールド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]	※3	28 {280}	※3
EXマニホールド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]	49 {500}	※3	※3
圧縮圧力 (250r/min時) [MPa {kgf/cm ² }] : 基準値	1.23 {12.5}	1.25 {12.8}	3.04 {31.0}
圧縮圧力 (250r/min時) [MPa {kgf/cm ² }] : 限度	0.98 {10.0}	←	1.96 {20.0}
圧縮圧力 (250r/min時) [MPa {kgf/cm ² }] : 気筒差	0.098 {1.0} 以下	←	0.49 {5.0} 以下
スパークプラグギャップ [mm] : 基準値	1.0~1.1	←	—
ラジエーターキャップ開弁圧 [kPa {kgf/cm ² }] : 基準値	74~103 {0.75~1.05}	←	93~122 {0.95~1.25}
ラジエーターキャップ開弁圧 [kPa {kgf/cm ² }] : 限度	59 {0.6}	←	78 {0.8}

<参考>

- ※1. T_{E1}⇔E₁ (4S-FE)、T_C⇔E₁ (1G-FE) 端子間
- ※2. 塑性域締め付けのため点検不要
- ※3. メタルガスケット使用のため点検不要

定期点検整備基準値 - 定期点検整備基準値

(2/2)

項目	1 J Z - G E	2 J Z - G E	1 J Z - G T E
バッテリー液比重 (液温20℃) : 基準値	1.25~1.29	←	←
バッテリー液比重 (液温20℃) : 液槽差	0.04以下	←	←
点火時期 [° BTDC] / [r/min] : T端子短絡 ※1	8~12/650±50	←	8~12/700±50 (M/T車) 8~12/650±50 (A/T車)
点火時期 [° BTDC] / [r/min] : T端子開放 ※1	5以上/650±50	←	8以上/700±50 (M/T車) 8以上/650±50 (A/T車)
アイドル回転数 (Nレンジ、無調整式) [r/min]	600~700	←	650~750 (M/T車) 600~700 (A/T車)
アイドルCO濃度 [%]	1.0以下	←	←
アイドルHC濃度 [ppm]	300以下	←	←
I Nバルブクリアランス (冷間時) [mm]	0.15~0.25	←	←
E Xバルブクリアランス (冷間時) [mm]	0.25~0.35	←	←
シリンダーヘッド締め付けトルク [N・m (kgf・cm)]	※2	※2	※2
I Nマニホールド締め付けトルク [N・m (kgf・cm)]	※3	※3	※3
E Xマニホールド締め付けトルク [N・m (kgf・cm)]	※3	※3	※3
圧縮圧力 (250r/min時) [MPa (kgf/cm ²)] : 基準値	1.27 (13.0)	1.32 (13.5)	1.23 (12.5)
圧縮圧力 (250r/min時) [MPa (kgf/cm ²)] : 限度	1.08 (11.0)	1.13 (11.5)	0.88 (9.0)
圧縮圧力 (250r/min時) [MPa (kgf/cm ²)] : 気筒差	0.098 (1.0) 以下	←	←
スパークプラグギャップ [mm] : 基準値	1.0~1.1 ※4	←	←
スパークプラグギャップ [mm] : 限度	1.3	←	←
ラジエーターキャップ開弁圧 [k Pa (kgf/cm ²)] : 基準値	74~103 (0.75~1.05)	←	←
ラジエーターキャップ開弁圧 [k Pa (kgf/cm ²)] : 限度	59 (0.6)	←	←

<参考>

- ※1. T_C⇔CG (1 J Z - G E)、T_{E1}⇔E₁ (2 J Z - G E、1 J Z - G T E) 端子間
- ※2. 塑性域締め付けのため点検不要
- ※3. メタルガスケット使用のため点検不要
- ※4. 白金プラグ使用のため調整不要

シャシー関係

1. シャシー関係基準値
基準値

項目	GF-SX100 GF-GX100 KD-LX100	GF-JZX100 GF-JZX101	GF-GX105 GF-JZX105
ステアリングホイールの遊び (ホイール外周にて油圧作動時) [mm]	0~30	←	←
フロントアライメント (1mにつき) [mm] : サイドスリップ	0±5	←	←
フロントアライメント [mm] : トーイン	1±2	←	0±2
フロントアライメント [度] : キャンバー	0° 00'±45'	0° 00'±45' -0° 15'±45' ※1	-0° 15'±45'
フロントアライメント [度] : キャスター	5° 45'±45'	←	4° 30'±45'
フロントアライメント [度] : キングピンアングル	9° 00'±45'	←	8° 45'±45'
リアアライメント [mm] : トーイン	2±2	←	←
リアアライメント [度] : キャンバー	-0° 30'±45'	-0° 30'±45' -0° 40'±45' ※1	-0° 15'±45'
ブレーキペダル遊び (負圧なしの状態) [mm]	1~6	←	←
ブレーキペダル踏み残りしろ (エンジンON, 踏力300N (30kgf)) [mm]	82以上	←	←
パーキングブレーキレバー引き代 (操作力196N (20kgf)) [ノッチ数]	5~8	←	←
パーキングブレーキペダル踏み代 (操作力294N (30kgf)) [ノッチ数]	5~7	←	←
パーキングブレーキ効き具合 : 制動力	検査時車両重量の20% 以上	←	←
ブレーキライニングの厚さ [mm] (パーキングブレーキ用) : 基準値	2.0	←	←
ブレーキライニングの厚さ [mm] (パーキングブレーキ用) : 限度	1.0	←	←
ブレーキドラムの内径 [mm] (パーキングブレーキ用) : 基準値	176.0	←	←
ブレーキドラムの内径 [mm] (パーキングブレーキ用) : 限度	177.0	←	←
フロントブレーキパッドの厚さ [mm] : 基準値	12.0	11.0	←
フロントブレーキパッドの厚さ [mm] : 限度	1.0	←	←
リアブレーキパッドの厚さ [mm] : 基準値	12.0	10.0 12.0 ※2	10.0
リアブレーキパッドの厚さ [mm] : 限度	1.0	←	←
フロントブレーキローターの厚さ [mm] : 基準値	22.0	25.0 32.0 ※2	25.0
フロントブレーキローターの厚さ [mm] : 限度	20.0	23.0 30.0 ※2	23.0
リアブレーキローターの厚さ [mm] : 基準値	10.0	10.0 16.0 ※2	10.0
リアブレーキローターの厚さ [mm] : 限度	9.0	9.0 15.0 ※2	9.0
ブレーキの効き具合 (制動力) ※3 : 後輪和	軸重の10%以上	←	←

定期点検整備基準値 - 定期点検整備基準値

項目	GF-SX100 GF-GX100 KD-LX100	GF-JZX100 GF-JZX101	GF-GX105 GF-JZX105
	ブレーキの効き具合 (制動力) : 各輪左右差	軸重の8%以下	←
ブレーキの効き具合 (制動力) : 総和	検査時車両重量の50%以上	←	←
クラッチペダル遊び [mm]	5~15	←	-
クラッチペダル切れ残りストローク [mm]	25以上	←	-
フロントアクスルハブ軸方向のガタ [mm]	0.05以下	←	←
リヤアクスルハブ軸方向のガタ [mm]	0.05以下	←	←
ホイールナット締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]	103 {1050}	←	←
タイヤ残り溝 [mm]	1.6まで	←	←

<参考>

- ※1. ツアラーS, ツアラーV, ルラーンS, ルラーンGのみ。
- ※2. ツアラーV, ルラーンGのみ。
- ※3. 前輪のすべての車輪がロックし、計測困難な場合は、その状態で総和に対して適合するものとみなす。

2. 空気圧基準値

- (a) 一般、高速とも同じ [kPa {kgf/cm²}]
基準値

タイヤサイズ	車両型式	前輪	後輪
185/70R14 88S	SX100	190 {1.9}	←
195/65R15 91H	SX100	200 {2.0}	←
	GX100		
	LX100		
	JZX100		
	GX105		
205/65R15 94H	JZX100	190 {1.9}	←
	JZX101		
205/60R15 91H	GX100	200 {2.0}	←
205/55R16 89V	GX100	210 {2.1}	←
205/55R16 89V	JZX100	230 {2.3}	←
225/50R16 92V	JZX100	-	240 {2.4}

定期点検作業要領

作業要領

TT02-01

<参考>

ここに記載されていない項目については、トヨタ定期点検作業要領説明書（品番69644、1995年5月発行）に従って作業を行う。

1. 減速時排気ガス減少装置の機能

(a) フューエルカット装置（4S-FE、1G-FE、1JZ-GE、2JZ-GE、1JZ-GTE）

- (1) エンジンを暖機後、サウンドスコープをインジェクターに当てて、エンジン回転数を3500r/min以上まで上げスロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動音が一瞬止まることを確認する。

<注意>

1JZ-GTEのM/T車はダッシュポットを作動させないようにして行う。

2. 排気ガス再循環装置の機能

(a) EGR装置（2L-TE）

- (1) 水温55℃以下のアイドル運転状態で、EGRバルブのパキュームホースに負圧がかかっていないことを確認する。
- (2) エンジン暖機後、アイドル運転状態で、EGRバルブのパキュームホースに負圧がかかっていることを確認する。
- (3) エンジン回転数を約1500r/minに上げたとき、EGRバルブのパキュームホースに負圧がかかっていることを確認する。
なお、パキュームホースにかかる負圧の確認は、EGRバルブ側のパキュームホースにパキュームゲージを取り付けて行う。